

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益や成果のマルチステークホルダーへの適切な分配が、当社の持続的な成長を実現し、かつ持続可能な社会の形成につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要になるため、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1.従業員への還元

当社は、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化を図ってまいります。その上で、生み出した収益や成果をもとに、社会情勢や自社の財政状態等を勘案しつつ適切な方法による賃金の引上げを行います。また、従業員への持続的な還元を実現するため、多様な人財が能力を最大限に発揮できる職場環境の醸成に努めるとともに、人材投資に積極的に取り組んでまいります。

人財への投資の具体的な取組として、ベースアップを含めた従業員の処遇改善や、当社の育成指針となる「人財育成計画」のもと、「自らを高め、未来をつくり、人を支える」人財の育成を目指し、階層別の集合研修や公的資格支援等を実施しております。

#### 2.取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2020年9月18日】

- ・ パートナーシップ構築宣言の URL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/490-04-00-tokyo.pdf>】

#### 3.その他のステークホルダーに関する取組

当社は 1898 年の創業以来、創業者 熊谷三太郎の言葉 「いつか世の中のお為になるような仕事をさせていただきたい」「難所難物（困難な工事）があれば、私にやらせてください」に込められている“誠実さ”と“挑戦心”を受け継ぎ、その時々々の社会課題に対応し、社会の発展に尽力してまいりました。

当社は様々なステークホルダーとの対話を行い、社会から求められる建設サービス業の担い手として、いつの時代も社会課題と真摯に向き合い、目指す社会の実現に貢献いたします。

以上

令和 5 年 4 月 4 日

株式会社熊谷組 取締役社長 櫻野 泰則